



寄港地情報



バレッタ (Valletta) / マルタ共和国

※船内テレビ10CH「寄港地紹介」も合わせてご覧ください。(4月18日～23日放映)

入港日時： 4月23日(月) 07:00

出港日時： 4月23日(月) 19:00

着岸岸壁： バレッタウォーターフロントピア1&2 (Valletta Waterfront Pinto 1&2)

最終帰船時刻： 4月23日(月) 18:00

シャトルバス： 運行はありません。

飛鳥デスク： アッパーバラッカガーデンへのエレベーター付近に係員がいます。
デスクは設置しませんが、係員が観光などのお問い合わせを承ります。

■緊急連絡先■

「飛鳥Ⅱ」： ①Tel: 00-81-80-1121-6937 (携帯電話/寄港中のみ)

②Tel: 00-870-7649-16750 / 16755 (衛星電話)

現地手配旅行会社： ミキ・ツーリスト Miki Tourist

担当： 豊田 Tel: 00-81-80-3529-3022 (携帯電話/日本語可)

在イタリア日本国大使館： 00-39-06-487991

※ マルタはイタリア大使館が管轄しています。

日本へ電話をかける場合： 00 (国際電話識別番号) - 81 - (0を除いた市外局番) - (相手先の電話番号)

※ 日本の携帯電話からかける場合は「00」の代わりに「+」を押して発信する場合があります。

寄港する港の特徴

港周辺 マルタ島はイタリア・シチリア島の南、地中海の真中に浮かぶ島で、その地理的な位置や歴史上における役割から「地中海のへそ」と呼ばれます。バレッタでの見所の一つ「アッパーバラッカガーデン」へは岸壁から徒歩約10分にあるエレベーターで行くことができます。※エレベーターは上りのみ有料、1ユーロコインが必要。

気候と服装

気候情報 予報 最高気温：20℃ 最低気温：14℃

地中海性気候で温暖ですが、朝夕は気温差があります。

服装のアドバイス 重ね着できる服装をおすすめします。日中は日差しが強いので、帽子やサングラスをご持参ください。冷房対策や朝夕の気温差のため、薄手の羽織る物もご持参頂くことをおすすめします。

時差

日本との時差 日本標準時より7時間遅れています。(バレッタの正午は、日本時間の午後7時)

治安

外務省海外安全情報 現在、危険情報は発出されておられません。

治安情報 比較的治安は良いですが、油断は禁物です。スリ、置き引きにはご注意ください。

外出時の注意 外出時には緊急時に備え、緊急連絡先を記載した書類と携帯電話などを必ずお持ちください。

チップ

習慣の有無 レストラン、タクシーなどで必要です。

金額の目安 レストランでは支払額の10%程度。タクシーは1~2ユーロ程度が必要です。

通貨と両替

現地通貨 ユーロ(€) 補助通貨はユーロセント(¢) €1=100ユーロ¢=約135円(2018年4月現在)

両替情報 米ドル、日本円は基本的に利用できません。船内でユーロへの両替をお勧めします。

※5デッキ・レセプションにて100ユーロパックの販売を行っております。(¥13,500)

※船内では日本円への再両替はできません。

タクシー

港のタクシーの有無 ターミナル出口付近にいます。時間帯により、いない場合もあります。

「飛鳥Ⅱ」～市街地間の目安 ターミナルからバレッタ旧市街入口まで

距離：約3km、所要時間：約15分、料金目安：約€15

市街地からの利用 旧市街のシティゲート付近にタクシー乗り場があります。

料金制度 ほぼ固定料金ですが、交渉制です。乗車する前に必ず行き先と料金を確認してください。

飲料水

現地の水の安全性 ミネラルウォーターをお勧めします。お部屋のお飲み物をお持ちください。

トイレ事情

市街地での利用 ホテルやレストラン等での利用をお勧めします。

お買い物

港周辺のお店 ターミナルに隣接したウォーターフロント地区にはカフェ、レストラン、商店が並んでいます。

旧市街のメインストリート「リパブリック通り」にはカフェや商店が集まっています。

一般商店営業時間の目安 オープン時間：9：00～19：00頃（店舗によって異なります）

※昼休みの習慣があり、13時から16時頃まで多くの商店が休みになります。

お土産一例 レース、ガラス製品、金銀細工のアクセサリー、マルタ産のワイン、はちみつ、

オリーブオイル、塩、マルタの漁船の飾り物など

免税手続きについて

マルタでは一店舗で合計315ユーロ以上（一つのレシートが55ユーロ未満の物は合計に含めない）お買いものをした場合、免税の対象となります。購入されたお店で手続きをしていただいた後、書類を受け取り、商品（未使用であることが条件）と一緒に保管してください。

（店舗によっては免税手続きができない場合がございます。）

EU加盟国における免税手続きの詳細は、先日お配りした「ヨーロッパでの免税手続きに関するご案内」をご覧ください。

ショッピング上のご注意

◆ワシントン条約（絶滅の危機に瀕している野生動植物の国際取引に関する条約）で規制されている動植物およびその加工品は、条約で定められた許可書が無い限り日本への持ち込みはできません。

（規制代表例：象牙・トラなどの毛皮や敷物、ジャコウシカ・クマなどを含有する漢方薬など）

◆医薬品や化粧品は数量制限があります。（内服薬2ヶ月分以内、外用薬・化粧品は24個以内など）

◆偽ブランド商品・コピー商品などは、日本への持ち込みが禁止されています。

◆輸出証明がある場合でも、ビーフジャーキーなどの肉類・加工品は日本への持ち込みはできません。

◆植物類（生鮮野菜や果実、米）は日本帰国時に植物検疫の対象となり、持ち込めない物もあります。

◆日本帰国時の免税範囲や規制品の詳細は、5デッキ・レセプションにパンフレットをご用意しています。

<作成：ツアーデスク>

4/23 バレッタ港 周辺のご案内

マルタ共和国の首都バレッタはユネスコの世界遺産にも指定されています。1565年のオスマントルコ軍との戦い「グレートシージ」（大包囲戦）の経験から、難攻不落の都市となるよう設計され1571年に完成しました。現在では、マルタ共和国の政治機能が集まっている一方、お洒落なカフェやレストランがあります。散策をお楽しみください。岸壁から旧市街へは坂道を上がるか、もしくはエレベーター（徒歩約10分/上りのみ1ユーロ）をご利用ください。

当日は17:00~17:30に岸壁でインガーディア（騎士団の軍事演習を模したパレード）が開催されます。

※ 下記①~④の番号は裏面地図の番号です。

※ 下記の営業時間や料金などは予告なく変更になる場合がございます。シニア料金（60歳以上）での入場券購入の際には写真付きID（パスポートコピーなど）をご提示ください。

① アッパーバラッカガーデン（Upper Barracca Garden）

手入れされた園内と噴水が印象的なこの公園は、地元の人々と観光客の憩いの場です。公園の奥には展望デッキになっており、対岸の景色を一望できます。12時と16時に大砲が放たれます。

② 騎士団長の宮殿（Grandmaster's Palace）

歴代の騎士団長の宮殿として使用されてきたこの建物は、現在は大統領や、政府機関として使用されています。見学できる内部にはペロロス騎士団長が私費を投じて織らしたアフリカ、インドの風物をみせるタペストリーやグレートシージ（大包囲戦）の名場面を描いた欄間絵などご覧いただけます。

オープン時間：10:00~16:00（最終入場は閉館30分前です。）

入館料：大人 12ユーロ 60歳以上 8ユーロ

※国家の公式行事に使用される場合は事前の連絡なく入場不可となる場合があります

③ 聖ヨハネ大聖堂（St.John's Co-Cathedral）

騎士団の守護聖人、洗礼者ヨハネを称えるために建築された大聖堂です。シンプルな外観からは想像がつかないほど内部は豪華絢爛です。大聖堂内はヒールのある靴や肌を露出した服装での入場は出来ませんのでご注意ください。

オープン時間：9:30~16:30（最終入場は閉館30分前です。）

入館料：大人 10ユーロ 60歳以上 7.5ユーロ

④ 国立考古学博物館（National Museum of Archaeology）

16世紀にプロヴァンス出身の騎士達の宿舎として使用されていました。マルタ島内に点在する神殿にはレプリカが展示されており、古代神殿から発掘された本物の出土品はこの博物館に展示されています。

オープン時間：9:00~18:00（最終入場は閉館45分前です。）

入館料：大人 5ユーロ 60歳以上 3.5ユーロ

【バレッタ市内から郊外へお出掛けの場合】

港のターミナル外と、シティゲート前にタクシーが待機しています。ご利用の際は、料金をご確認ください。また、郊外にはタクシーはほとんどいません。時間単位でのチャーターが可能ですので、往復での交渉をお勧めします。

【2階建て観光バス（Malta Sightseeing bus）】

マルタ島内の主な見どころを周遊する、乗り降り自由なバスです。港付近とシティゲート前に停留所があります。（24時間有効のチケット：20ユーロ / 09:00から15:00頃まで1時間間隔で運行）

【飛鳥デスク】現地事情に詳しい係員がおお客様のご質問にお答えします。（デスクの設置はありません。）

場所：アッパーバラッカガーデンへのエレベーター付近に係員がいます。

係員駐在時間：09:00~12:00 / 13:00~16:00

【タクシーでお帰りの場合は・・・】

タクシーで「飛鳥Ⅱ」へお帰りの際には、下記英語をタクシー運転手にお見せください。

“Please take me to Valletta Waterfront, Pinto1&2”

（私をバレッタ ウォーターフロント 客船ターミナル ピント1&2まで連れて行ってください。）

■ 緊急連絡先 ■

「飛鳥Ⅱ」着岸岸壁：グランドハーバー クルーズポート ウォーターフロント ピント 1&2
Grand Harbour Cruise Port Waterfront Pinto 1&2

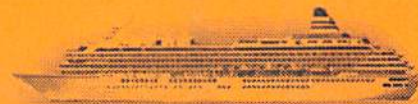
最終帰船時刻：18:00

「飛鳥Ⅱ」：①Tel: 00-81-80-1121-6937（携帯電話/寄港中のみ）

②Tel: 00-870-7649-16750 / 16755（衛星電話）

日本へ電話をかける場合：00（国際電話識別番号）-81-（0を除いた市外局番）-（相手先の電話番号）

※ 日本の携帯電話からかける場合は「00」の代わりに「+」を押して発信する場合があります。



バレッタ港 周辺案内図



★【飛鳥デスクオープン時間】
09:00～12:00/13:00～16:00
「飛鳥デスク」の設置はございませんが、
エレベーター（BARRAKKA LIFT）上のアッパー・
バラッカ・ガーデン付近に日本語を話す係員が
待機しています。
エレベーターは上りのみ1ユーロ（現金）がかかります。

